

脱炭素社会の実現に向けて ～課題共有から共創へ～

鳥取市は、環境省の「脱炭素先行地域」に選定され、地域ぐるみで脱炭素社会の構築を目指すモデル的な取組を進めており、本学サステナビリティ研究所は、本プロジェクトの研究的支援機関として、2022年度より複数の関連研究を行ってきました。

本シンポジウムは、本学による研究支援の中間成果を報告するとともに、行政・地域・民間関係者との対話を通じて、現場の課題と展望を共有し、関係者連携のあり方を探ります。

日時: 令和7年12月3日(水) 13:00～16:10

会場: 公立鳥取環境大学 講義棟2F 200講義室



第1部 令和6年度サステナビリティ研究所 研究成果報告

13:00～14:30



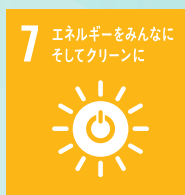
木質バイオマス発電に伴う燃焼灰（バイオチャー）
の農業用途への再利用に関する研究

環境学部 教授 金 相烈



多様なセンサデータを用いたXAIによるエネルギー
マネジメントとグリーンインフラの評価

人間形成教育センター 准教授 堀 磨伊也



中山間地域の農業経営体におけるカーボン
クレジット導入モデルの検討

環境学部 准教授 山口 創



住民主体のまちづくり文化の醸成に関する研究：
地域脱炭素の取り組みに関する合意形成を軸に

環境学部 准教授 甲田 紫乃



(1) 話題提供 ~取組事例紹介~

- ・脱炭素まちづくりアドバイザー 白簀 佳三氏
- ・株式会社鳥取メカシステム 代表取締役 林 正太郎氏
- ・株式会社スマートエネルギーとっとり 課長 保木本 淳氏

(2) パネルディスカッション

【パネラー】

脱炭素まちづくりアドバイザー 白簀 佳三氏
株式会社鳥取メカシステム 代表取締役 林 正太郎氏
株式会社スマートエネルギーとっとり 課長 保木本 淳氏

【ファシリテーター】

公立鳥取環境大学サステナビリティ研究所 所長 金 相烈



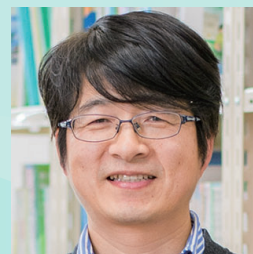
白簀 佳三氏



林 正太郎氏



保木本 淳氏



金 相烈所長

参加には、事前のお申込が必要です。

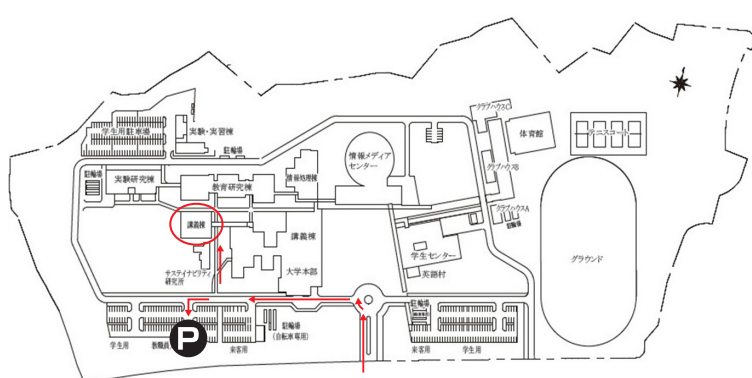
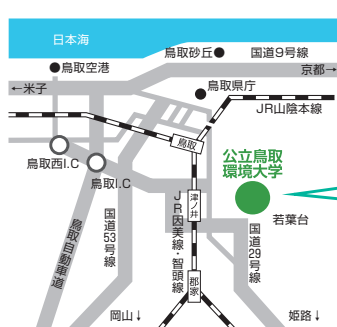
右記 QR コードをご利用いただくか、お名前・お勤め先・電話番号・E-mail をご記入の上、開催日前日までに event@kankyo-u.ac.jp まで メールをお送りください。

※個人情報、関係法令及び本学規定により管理・保管いたします。

又、当行事の連絡および本学開催の講座・講演等の催しに関する案内連絡以外の目的で使用いたしません。



会場までのアクセス・駐車場案内



〈交通アクセス〉

○JR鳥取駅からバスで約20分 ○JR津ノ井駅から徒歩で約20分

【主催・お問合せ】



公立鳥取環境大学
Tottori University of Environmental Studies

〒689-1111 鳥取市若葉台北一丁目1番1号
担当：サステナビリティ研究所 須崎・山本
電話：0857-32-9100 FAX：0857-32-9108

主催：公立鳥取環境大学サステナビリティ研究所 協力：鳥取市 後援：鳥取県